



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月14日

上場会社名 株式会社N・フィールド 上場取引所 東
 コード番号 6077 URL http://www.nfield.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 和輝
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理本部長 (氏名) 高木 三愛 (TEL) 06-6343-0600
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の業績 (平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,302	—	97	—	72	—	55	—
24年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	62.42	59.86
24年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は平成24年12月期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年12月期第3四半期の数値及び平成25年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2. 当社は平成25年6月17日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益は当該株式分割が当事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,079	658	61.0
24年12月期	853	28	3.4

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 658百万円 24年12月期 28百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,896	68.0	205	—	175	—	151	—	154.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	1,254,000株	24年12月期	837,500株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	－株	24年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	882,613株	24年12月期3Q	－株

（注）当社は、平成25年6月17日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 平成25年12月期の業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、本提出日前日までの新株予約権（ストックオプション）の行使による増加株式数を反映させて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年末の景気の底入れ以降、回復傾向が明確化し、緩やかに伸長してきております。緊急経済対策に伴う公共投資の押し上げ、米国経済の堅調な伸展や、円安を背景とする輸出環境の改善、企業の業績回復に伴う設備投資の底固い推移などにより、内外需ともに景気の伸長、緩やかな増加基調が続く見込みがされております。

看護業界では、厚生労働省より公表されている『医療分野の「雇用の質」向上プロジェクトチーム報告』による勤務環境改善に向けた方針、施策に基づき、各事業者はその実現のための取り組みを行ってまいりましたが、看護師等有資格者の確保が難しい状況は依然として続いており、人材の確保が課題となっております。

このような環境の中、当社におきましては、営業所を新たに3拠点開設し、既存3営業所を事業所へ業態変更した結果、当第3四半期会計期間末の拠点数は28事業所、7営業所の計35拠点となりました。また、引き続き積極的な従業員採用活動を実施すると共に、OJT及び管理者研修に注力してまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,302,054千円、営業利益は97,914千円、経常利益は72,648千円、四半期純利益は55,088千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は681,418千円（前事業年度末残高492,358千円）となり、前事業年度末に比べ189,060千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が97,124千円、売掛金が89,663千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は397,712千円（前事業年度末残高360,989千円）となり、前事業年度末に比べ36,722千円増加いたしました。その主な要因は、無形固定資産が33,749千円、投資その他の資産が5,389千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は373,870千円（前事業年度末残高560,037千円）となり、前事業年度末に比べ186,166千円減少いたしました。その主な要因は、短期借入金が210,000千円、流動負債のその他に含まれる1年内返済予定の長期借入金が21,248千円減少したものの、賞与引当金が21,549千円、流動負債のその他に含まれる未払金が15,313千円、未払法人税等が7,354千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は46,812千円（前事業年度末残高264,721千円）となり、前事業年度末に比べ217,908千円減少いたしました。その主な要因は、転換社債型新株予約権付社債が165,000千円、固定負債のその他に含まれる長期借入金が54,880千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は658,448千円（前事業年度末残高28,589千円）となり、前事業年度末に比べ629,858千円増加いたしました。その要因は、上場に伴う増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ287,385千円増加したこと及び当第3四半期累計期間に四半期純利益を55,088千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年8月29日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	224,597	321,722
売掛金	248,882	338,546
貯蔵品	639	630
その他	18,370	20,698
貸倒引当金	△131	△178
流動資産合計	492,358	681,418
固定資産		
有形固定資産	267,389	264,973
無形固定資産	29,350	63,099
投資その他の資産	64,249	69,639
固定資産合計	360,989	397,712
資産合計	853,348	1,079,131
負債の部		
流動負債		
短期借入金	410,000	200,000
未払法人税等	10,094	17,448
賞与引当金	—	21,549
その他	139,942	134,872
流動負債合計	560,037	373,870
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	165,000	—
退職給付引当金	650	1,504
その他	99,071	45,307
固定負債合計	264,721	46,812
負債合計	824,758	420,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,500	519,885
資本剰余金	202,500	489,885
利益剰余金	△406,410	△351,321
株主資本合計	28,589	658,448
純資産合計	28,589	658,448
負債純資産合計	853,348	1,079,131

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,302,054
売上原価	830,481
売上総利益	471,572
販売費及び一般管理費	373,658
営業利益	97,914
営業外収益	
受取利息	154
受取配当金	2
受取手数料	176
営業外収益合計	332
営業外費用	
支払利息	9,702
株式交付費	8,146
株式公開費用	7,036
その他	712
営業外費用合計	25,598
経常利益	72,648
特別損失	
固定資産除却損	3,461
特別損失合計	3,461
税引前四半期純利益	69,186
法人税、住民税及び事業税	14,098
法人税等合計	14,098
四半期純利益	55,088

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、居宅事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年8月29日における東京証券取引所マザーズへの株式上場にあたり、平成25年8月28日を払込期日とする公募増資及び平成25年9月27日を払込期日とする第三者割当増資を実施いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ287,385千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が519,885千円及び資本剰余金が489,885千円となっております。